

教養学部後期課程 学生各位

2022 年度 A セメスター授業の受講に際しては、以下の点に留意してください。

はじめに

・2022 年度 A セメスターでは、S セメスターと同様、一部オンラインでの授業を継続しつつ、対面授業を基本とした授業体制です。

・各科目の開講形態は、シラバス最下部の「授業実施形態」欄を参照してください。

・教養学部後期課程では、対面授業の場合も、学期開始時の教室の混雑を避けるため、A セメスター及び A1 タームの 1 回目 (10 月 3 日～10 月 7 日) はオンラインでの実施を原則とします。ただし、授業によっては初回から対面で実施されるものもあります。授業開始前に、シラバスまたは ITC-LMS の通知をよく確認して授業に参加してください。

・オンライン型の授業にも、原則、教室情報が設定されています。前後に対面授業があり駒場キャンパス内でオンライン受講をする必要がある場合には、こちらの教室を利用できます。

・授業は、原則 90 分で行われますが、105 分で実施される授業もあります。UTAS のシラバスにその旨明記されているので、必ず確認をしてください。

・新型コロナウイルスが再度感染拡大した場合については、国・自治体および大学の方針に則して対応する予定です。随時、教養学部ウェブサイトで情報を確認してください。

オンライン授業の受講にあたって

・オンライン授業を受講するための各種システムについては下記のページを参照してください。

東京大学でオンライン授業を受けるために

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/>

・オンライン授業に関して、トラブルやうまくいかないこと、不安なことがあれば、サポート窓口にご相談ください。

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/supports/>

・授業の入室に関してトラブルが発生している場合は、担当教員あるいはサポート窓口のメールフォームへ連絡してください。

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/forms/et>

・オンライン講義を録画したり、スクリーンキャプチャしたものやダウンロードしたものを第三者に提供すること、第三者が閲覧可能な形でアップロードすること、講義のリンクを第三者に提供することは禁止します。守られなかった場合は不正行為とみなされることがあります。不正行為とみなされた場合、その科目が開講されている Semester 一期間中に履修した全科目（ターム科目を含む）の得点を無効とされます。また、著作権法に触れる場合は法的措置がとられることがあります。学生が自分の学習のために個人的に録画することも禁止です。

（但し、サーバダウンなどが理由で講義の URL が入手できない当該講義の受講生に、リンクを送ることは禁止しません。）

オンライン授業の URL を、学外者へ漏らすことも禁止です。

[※2021年4月26日付掲示 オンライン授業の受講に係るルールの確認について](#)

・やむを得ない事情でオンライン授業の受講に問題があった場合は、担当教員に録画の

提供をお願いしてください。

・原則として、オンライン授業に参加する際やアカウントの名前は本名（学生証記載の氏名）を入れてください。ニックネームの使用を希望する場合は、50人以下の授業の場合は、担当教員にメール等で本名とニックネームの両方を事前に知らせてください。50人を超える授業の場合は、担当教員から指示がない限りはその必要はありません。試験やレポートなど、その他の場合は本名を書いてください。

・オンライン講義の受講環境に関する相談については、以下のページを参照してください。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/online-lectures.html>

・学部学生の卒業要件とオンライン授業の上限単位については、以下の掲示を参照してください。

[令和4（2022）年度以降のオンライン授業について～履修にあたっての注意事項～](#)

対面授業の受講にあたって

【授業中における注意点】※ステージイエローII 以下の場合

・必ずマスク（なるべく不織布のもの）を着用すること。ただし、屋外又は体育館で行う身体運動実技の授業において教員から指示があった場合には、マスクを着用しないことができる。なお、その場合でも更衣室での運動着の着替え及び運動する場所との移動時の往復（屋外は除く）においては、マスクを着用すること。

・その他、屋外で人との距離が確保できる場合や距離が確保できなくても会話を行わない場合もマスクを着用しないことができる。

・可能な限り、他者と距離をとって着席すること。また、授業中の移動は特に必要がない限りしないこと。

・咳・くしゃみの際には咳エチケットを徹底すること。

- ・ 不要な発声、会話をしないこと。

【授業の前後における注意点】 ※ステージイエローII 以下の場合

- ・ 授業当日に発熱（37.5℃以上又は平熱比1℃以上超過）や咳、息苦しさ、強いだるさなど体調がすぐれない場合は、大学に登校せず、教養学部感染報告フォームより報告を行うこと。また、必要に応じて科目担当教員に連絡すること。
- ・ その他、屋外で人との距離が確保できる場合や距離が確保できなくても会話を行わない場合もマスクを着用しないことができる。
- ・ アルコール除菌ペーパーや携帯可能な消毒液等があれば、持参・使用することを推奨する。
- ・ 消毒液とペーパーを各号館の廊下に用意しているので、入室の際に手指を消毒するとともに、教室に着席する際には、消毒液を含ませたペーパーで身の回りを拭き、拭き終わったペーパーは所定のごみ箱に捨てること。
- ・ 常にフィジカルディスタンス（身体的距離）を意識した行動をとり、構内の移動や教室の入退室の際にも他者との距離をとることを意識すること。
- ・ 同じ室内、空間に他者がいる場合は、必ずマスクを着用すること。
- ・ 食事をする場合は他者との距離をとり、飛沫が飛ばないように静かにとること。
- ・ 授業前後や帰宅時など、こまめに手洗いすること。
- ・ 授業終了後、特に用事がない場合はすみやかに退構すること。
- ・ エレベーターの使用は移動に困難のある者だけに制限する。やむを得ず利用する場合は、利用者間の距離を確保すること。

【授業中における注意点・授業の前後における注意点】 ※ステージオレンジ、レッドI の場合

ステージイエローII 以下と同様。ただし、授業中における着席については、最低でも市松模様型のように前後左右に空席を確保すること。

キャンパスでのオンライン受講について

・オンライン型の授業にも、原則、教室情報が設定されています。前後に対面授業があり駒場キャンパス内でオンライン受講をする必要がある場合には、こちらの教室を利用できます。

・他学部のオンライン授業を受講する場所としては、情報教育棟自習室、駒場図書館が利用可能です（いずれも発話不可）。また、自習可能なスペースとして KOMCEE West オープンスペースアリーナとレクチャーホールを開放しています。

・キャンパスでオンライン授業を受講するためのデバイスは、各自十分に充電したうえで、電源コードやヘッドセット（もしくはマイク機能付きイヤホン）とともに持参してください（スペアバッテリー、モバイルバッテリー等があれば持参する）。

・教室内のコンセントは空いているタップの口のみ利用してください。キャップをはめ込んでいる口は使用不可です。また OA タップを持参するなどして、電源をさらに分岐をさせることは禁止です。最悪の場合、複数の教室の電源ブレーカーが落ちて停電になったり、コンセントが発火して火事を引き起こしたりします。

・1号館2か所、7号館1か所、11号館1か所各20扉分（1号館1階のみ40扉）のPC充電用ロッカーを設置しています。数に限りがあるので譲り合って使用するようにしてください。

[PC充電用ロッカー設置のお知らせ](#)

[PC充電用ロッカーの利用手順](#)

・各教室では機械換気によって厚労省ガイドラインで必要とされる換気量は確保されていますが、適宜換気を行ってください。室内の換気扇のスイッチは切らないようにしてください。

・教室でオンライン授業を受講する際は、必ず UTokyo WiFi を使用してください。個人のモバイル WiFi ルーターやスマートフォンのデザリングは使用しないでください。UTokyo WiFi と干渉し、つながりにくくなります。

その他

・新型コロナウイルス感染症に自らが感染した場合、自らが濃厚接触者となった場合、その他感染が疑われる場合は、[駒場 I キャンパス新型コロナウイルス感染症感染報告フォーム](#)から報告をお願いします。

・新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合は、上記フォームより報告の上、授業担当教員に各自で連絡してください。

なお、欠席した授業についてのフォローは、授業担当教員が対応可能な範囲で行われることになっています。必ずしもオンライン授業を受講できるわけではありません。授業によりさまざまな事情があるため、授業に出席した場合と完全に同等にはならない可能性が高いことを留意してください。そのため、学生の皆さんにおかれましては日々の感染予防を徹底し、ワクチン接種にあたっては授業にできるだけ影響の出ない日程を選択するなどの配慮をしてください。

・本郷と駒場で連続する時限のオンライン授業については、本郷の科目を開講する学部が認めている場合は、履修を妨げません。ただし、いずれかの授業が対面授業に切り替わることがあった場合や試験だけ教室で行うことになった場合に、特段の救済措置はないため、どちらか一方には出席できなくなりますので、その点予めご了承ください。

・授業形態がオンデマンド方式であったとしても、同じ曜限に二つ以上の授業を履修登録することはできません。

・ [新型コロナウイルス感染症に関する e ラーニング \(COVID-19 e-learning\)](#) を未受講の方は、受講して確認テストに合格するようにしてください。

以上